

科目名	物理療法学実習			授業の種類	実習	講師名	
授業回数	23回	時間数	45時間 (1単位)	配当学年・時期	理学療法士科2年		必修・選択 必修
〔授業の目的・ねらい〕							
物理療法機器を実際に用い、各種物理療法を実施するための準備、パラメータの設定から実際の治療にいたるまでの手順を学ぶ。 また、実際の疾患を想定して適切な物理療法の選択、パラメータの設定などを学ぶ。							
〔授業全体の内容の概要〕							
物理療法学で学んだ基本的知識を実践するために、演習やグループディスカッションを中心とした授業を行う。							
〔講師の実務経験〕							
〔授業終了時の達成課題（到達目標）〕							
①物理療法機器を安全に扱うことができる。 ②疾患に応じて、適切な物理療法の種類、パラメータの設定などを考えることができる。							
回数	講義内容						
1	オリエンテーション						
2	オリエンテーション						
3	ホットパック						
4	ホットパック						
5	パラフィン						
6	パラフィン						
7	赤外線						
8	赤外線						
9	マイクロウェーブ						
10	マイクロウェーブ						
11	レーザー・(紫外線)						
12	レーザー・(紫外線)						
13	アイスパック						
14	アイスパック						
15	過流浴・交代浴						
16	過流浴・交代浴						
17	超音波						
18	超音波						
19	TENS (FES)						
20	TENS (FES)						
21	干渉波						
22	干渉波						
23	牽引						
	定期筆記試験						

【 準備学習・時間外学習 】

【 使用テキスト 】

書籍名	著者名	出版社
理学療法テキスト 物理療法学・実習（15レクチャーシリーズ）	石川 朗	中山書店

【 単位認定の方法及び基準（試験やレポート評価基準など） 】

筆記試験および、平常点（10回の筆記小テストの合格回数1回を1点とする）にて評価する。